

農＋観＋福で紡ぐ"稼ぐ力"向上プロジェクト拠点施設整備事業

重要容積評価指標 (KPI) 設定・成果												
指 標	R3	R3	R4	R4	R5	R5	R6	R6	R7	R7	事業効果	今後の方針の理由
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込	目標値	見込	目標値	見込		
1 農作業支援員の増員数 (人)	3	0	5	7	5	1	5	5	5	5	安定した就労環境を整えることで、継続的な人材確保が可能となり、農作業支援員を次代の農業経営者として育成することが将来的な担い手不足に対応する。	新規就農フェアに出展し農作業体験受入のPR、農業求人サイト掲載による農業就労機械の創出、新規人材の獲得に取り組む。
2 農福連携による障がい者等の雇用 (人)	1	0	1	8	1	4	1	1	1	1	障がい者等の就労訓練を通じた社会参加への後押し、担い手確保の体制を強固なものとする。	これまで設定した作業受委託契約内容のほか収穫作業に係る作業料金の設定など項目を増やし、更なる活躍の場を創出する。
3 農観連携による農業研修・農業体験ツアーの利用者数 (人)	20	0	40	0	40	24	50	88	50	88	女性や道内外の都市部を中心とした非農家出身の農業参画を推進することで、担い手確保の体制を強固なものとする。	観光協会と連携のもと野外アクティビティとアグリハートセンターの体験加工室利用との時間調整など役割分担等の整理を行い、既存のモニターツアーの検証・再設定を行う。

小清水町デジタル田園都市構想総合戦略推進会議委員のご意見

意見	担当者回答
冬のハウスを利用している事業とはどのようなものか。 今現在外国人が滞在状況は？外国人が滞在しているのか。	現在は観光目的の利用はなく、農業研修などで活用していることは聞いている。
見込み24 (人) となっているが、農業体験ツアーってどんなことを行っているのか。	観光協会の協力のもと、農業のハウスで収穫し、料理をするなど行っている。
農作業員の増員については、5名になっているが5名で間に合っているのか。	雇用の部分について4年度は非常によかったと思う。令和5年度1名となった要因は給料が見合った分もらえるのか、などが考えられる。他の職種と比べて魅力を伝えられればと思っている。 役場だけでなく農業振興公社も同様にかしらの魅力を高めていかなければと感じている。 適正な人員については、農業者の担い手支援のため需要量がどれほどあるかによるが、本来であれば農繁期だけではなく農閑期にも定着するようにいなければいけない。 今後、公社構成メンバーとともに人員については検討していく。
せっかく事業効果を狙っているのに、人員や事業の内容について、もう1、2点ぐらい増やして今後の方針としてやっていただきたい。もう少し構想を増やしてもいいかと思う。	目標値の根拠については、最初の計画時に策定したものでこうなったらよいなという将来的な構想となっている。